

令和 2 年度の活動状況全般

○概要

昨年度（令和 2 年度）は新型コロナウイルス感染症や、本市に大きな被害をもたらした令和 2 年 7 月豪雨など地域活動を取り巻く環境が大きく変化した。令和 2 年 3 月に地区別計画が策定されたが、同時期に全国的に新型コロナウイルスの感染者が増大しており、地域活動及び通常通りの会議の実施が困難になった。例年 4、5 月に開催される総会もほとんどの地区が書面開催として実施された。

時期	主な取り組み
6 月	・新型コロナウイルスの影響を受けた地域活動に関するアンケート調査
7 月	第 1 回荒尾市地区協議会会長会 ・新型コロナ対策について ・地区別計画の推進について
8 月	・地域活動における「新しい生活様式」導入指針 策定 ・公民館等への感染対策用品配付（第 1 回）
10 月	・公民館等への感染対策用品配付（第 2 回）
11 月	・地域活動における「新しい生活様式」導入指針 策定
1 月	第 2 回荒尾市地区協議会会長会（中止） ・協働の地域づくり交付金の運用概要及び交付金使途について
3 月	・市民活動支援講座実施（LINE 講座）
随時	・役員会等の情報共有（担当ごと） ・地域課題や要望等への対応 ・熊本県リスクレベルの変化など周知（地区協議会・元気づくり）

○令和 2 年度活動結果

- ・令和 2 年度行事活動結果 行事活動予定 130 回（内、実施 58 回中止 72 回）
- ・令和 2 年度会議結果 会議予定 119 回（内、実施 69 回中止 50 回）
- ・令和 2 年度総会状況 書面開催 8 地区 対面開催 4 地区
- ・行事の参加者数 H30 年度(コロナ前)11,000 人 ⇒ R2 年度(コロナ禍)1,800 人(▲83.6%)

○コロナ禍で生まれた新たな活動

- ・エリアマップの作成（緑ヶ丘地区）
- ・ウォークラリーイベント（万田中央地区）
- ・公式 LINE の開設（平井地区）

